



# 2年学年だより

発行日：令和元年7月1日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 3

## Every Sing ～すべての歌が南高校・附属中学校の誇り～

6月12日（水）みなとみらいホールにて、南高校および附属中学校の合唱コンクールが開催されました。たくさんの保護者の方のご参観をいただき、感謝申し上げます。

5月30日に体育祭が終了するやいなや、学校は歌声に包まれました。朝早くから高校生の歌声が校内に響き、昼休みや放課後には中学生の歌声も加わり、限られた日数のなかで、みな真剣に合唱を創りあげました。当日は1年生の澄んだ元気いっばいな歌声、2年生のクラス合唱に初挑戦ながらも堂々としたのびやかな歌声、3年生のハーモニーの厚みが増した曲想豊かな歌声がホールに響きました。中学1年生から高校3年生までのすべての歌声から、南高校および附属中学校6年間のダイナミックな成長ぶりが堪能でき、それは中高一貫校のかけがえのない魅力なのだと思います。当日を迎えるまで、校内の歌声が響くところでは、いつも音楽科の芳賀先生と岩田先生の熱いご指導が繰り返されていました。音楽科の先生方のご尽力、中高文化委員さんたちの熱心な準備・運営のおかげさまで、今年もすべての歌が、生徒全員が誇りに思うものとなりました。



1組

2組



3組

4組



## 合唱コンクールをふりかえって

5月の体育祭練習と、同時に練習が展開されていた合唱コンクール。昨年度は学年合唱で、1クラス40人で1曲を仕上げることが初めての2年生。スケジュールの把握も、自分たちで練習するのも初めてづくしでした。どのクラスも選んだ曲のイメージをふくらませながら表現することができました。7期生、4クラスともみんな本当によく頑張りました！その中でも指揮者さん、伴奏者さん、パートリーダーさん、文化委員さんは合唱コンクールに向けてクラスの中心となって活動し、行事を大成功に導いてくれました。ありがとうございました。

### 学年優勝 4組

最優秀指揮者賞 [ ] (1組)

最優秀伴奏者賞 [ ] (4組)

1組： [ ] 初めは、学年優勝を目指すなんて無謀だと思っていましたが、クラスの人達の頑張りをみて『もしかしたら』と思い、その日から全力で歌いました。思った通りの結果にはならなかったものの、今まで一番いい合唱ができたと思います。また指揮者賞が1組と言われたとき、自分のことじゃないのにと嬉しかったです。

2組： [ ] 昨年度は文化委員でも、クラスをまとめるようなことはそこまでなかったが、クラスの合唱になり、難しかった。また、議長団にも入らせていただいて、様々な経験ができてよかった。合唱コンが終わった後のやり切った感は気持ちよかった。この気持ちを忘れずに来年も合唱コンクールを頑張りたい。

3組： [ ] ベストを尽くせたのではないかと思う。40人で歌えたことはとても嬉しかった。スタートダッシュがかからなくて、ギリギリまで本気ではなかったかもしれないが、それは3組の良さでもあるのかと思う。指揮は上手く振れなくて「つーきーのない」の所が止まってしまったこともあったけど、みんなが合わせて歌ってくれてとても嬉しかった。みんなありがとう。

4組： [ ] 合唱コンの練習はとにかくきつかった。ぼく自身、いやだなあとか、つまんねえと思った時もあった。4組には特定のクラスを引っ張ってくれるような人はいない。その代わりに、一人ひとりが自分のできることを探してクラスを引っ張ったり支え合ったりしている。だからこそ、本番いい合唱ができたし、4組っていいクラスだなって思えた。やっぱり本気で取り組むことが大切だし、その成果が最優秀賞だと思う。

音楽科芳賀先生より、中学2年生の合唱についての講評を頂きました。(発表順です)

合唱コンクールお疲れ様でした。2年生は当日までに全クラスがやれる事をやり切って舞台上がれたと思います。全クラスともクラスの良い部分を存分に発揮できた良い演奏だったと思います。

1組『黒い瞳』 開法一番目の演奏でしたがそのプレッシャーを吹き飛ばす立派な演奏でした。特に男声の主旋律が多いのですが、透明な統一された音色で声量もあり素晴らしかったです。女声も「花・・ララ」の部分もかわいらしく楽しく伝わってきました。そして終わりの「忘れ得ぬ…」のクライマックスが3パートそろって美しいハーモニーが響いてました。

2組『消えた八月』 この曲はテンポの変化やリズムが難しく歌いこなせるか不安でしたが、その心配は無用でした。初めはズレていたリズムと呼吸がどんどんあってきて、質が高くなっていきましたね。何か所かの音程も前日の特訓の成果で当日は全パートがきれいにハモっていました。女声の「君の好きな…」がとても明るく美しかったです。難しい曲でしたがよく頑張りました。

3組『走る川』 終盤の追いつきの集中力がすごかったですね。初めはハーモニーや音の強弱が合わなかったのですが、練習を積むごとにもの凄く上達しました。「こんなにも急いで…」の女声のハーモニー、とても美しかったです。テノールの音程が難しい部分「やがて…」は早いうちから安定していました。全体がよく響いて、伝わってきました。

4組『木琴』 優勝おめでとうございます。かなり早くから譜読みができていたので、表現を細かくつけていました。とても良かったのは喉を使った無理な発声がなく、全体を通して常に美しいハーモニーがホールに響いていました。言葉もはっきりとして、詩の内容が伝わってきました。強弱も丁寧につけられていて、聞いている人たちに感動が伝わってきましたよ。

## 南高祭の先陣、体育祭の部開催！

5月30日(木)に、南高祭の先陣を切って、体育祭の部が開催されました。4月から体育祭実行委員会は猛スピードで準備をしてきました。また、体育祭の全体練習では、高校3年生から中学1年生の6学年が集まって応援練習に励んでいました。クラスでは学年種目Five×Eightの練習。さらには合唱コンクールの練習も始まり、2年生は常にこの日、この時間は何の練習をするべきか、体育祭実行委員さんや文化委員さんを柱に考え、行動していました。進級して初めての行事に、7期生は大奮闘でした。

**1組：** 初めて学年競技で「Five×Eight」をやると聞いたときは「えっ！！無理でしょう…」と思った。理由は5人で6脚とか、息が合わないでしょう！と思ったから。いざやってみると、男子が「じゃあ声もつけよっか」と言って、積極的に進めてくれている姿を見て、「すごい・・・」と圧倒されてしまった。そこから、5人の仲は良くなっていき、息ピッタリなチームになった。5人全員が声を出して、走ってターンもよくできて、すごく最高のチームになった。すごくいい体育祭になった。

**2組：** Five×Eightは、最初は進むので精一杯で、こんな感じで大丈夫か不安が大きかった。みんなの優勝したい！という気持ちに心を動かされ、班の中で自分から意見を言ったりするようになった。みんなで頑張った分、結果がついてくるのが確かに今回分かった。みんなで何か一つことをやり遂げることの楽しさを改めて感じる事ができた体育祭に感謝をしたい。

**3組：** 本番、私たちのグループは掛け声をミスし、転びそうになって大きくロスしてしまった。それで負けたといってもいいくらいだったけど、みんな「頑張ったね」「おつかれ」と、責める人は一人もいなかった。とても心が楽になった。結果的に負けてしまったけれど、楽しかったし、みんなも「楽しかった」といってくれたので嬉しかった。体育祭実行委員で良かったと思った。来年も委員になりたい！！

**4組：** Five×Eightで特に頑張ったのは全員で声を出して、足を合わせていくことです。初めは上手くできませんでしたが、先生のアドバイスを実践してから、だんだん速く走れるようになって楽しかったです。練習をすることでクラスの雰囲気もよくなっていったので全体的にも良い記録を出すことができました。また、普段見られない、高校の先輩たちの姿を見れたことも嬉しかったことの一つです。



### 姫のひとりごと

合唱コンクールでは、どのクラスも、期待を裏切らない素晴らしい合唱を披露することができました。この日のために、文化委員をはじめ多くの仲間や先輩方が準備を進めてきたこと、音楽科の先生や担任の先生方が情熱を傾けて指導してくださったことに思いをはせて、中堅学年としての活躍の場を広げていってください。